

グローバル・ハイールド 2025年の振り返りと2026年の 見通し

エグゼクティブ・サマリー

- グローバル・ハイールド債市場は「ゴルディロックス（過熱でも低迷でもない）」経済環境を背景に、力強い一年になりました。
- デフォルト率は低水準にあり、発行は回復基調、需要も引き続き堅調です。
- スプレッドがタイトな中でも、総合利回りの水準、クレジット・クオリティ、そして緩和的な金融環境が引き続き投資家にとって魅力的となっています。

パフォーマンスとマーケットハイライト

2025年はグローバル・ハイールド債市場にとって際立った一年となり、スプレッドは数年ぶりの低水準まで縮小、リターンも以下の要因により押し上げられました。

- 米国経済の底堅い成長が市場予想を上回ったこと
- 想定よりもタカ派色が弱かったFRBの金融政策
- 活発な資本市場の動きと力強い投資家資金流入

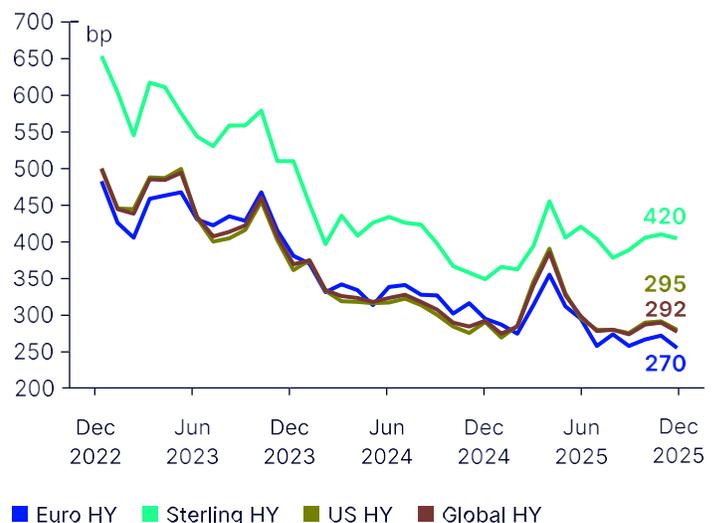
4月以降はリスク選好ムードが市場を支配し、世界的な貿易不確実性の緩和、ユーロ圏における財政刺激策、そしてAI関連分野にとどまらない幅広い企業収益の好調さが追い風となりました。その結果、成長資産およびインカム資産はいずれも年間を通じて高いパフォーマンスを示し、S&P500指数は17.9%のリターンを記録しました。

図表 1: 各期間におけるハイールド債のトータルリターン

リターン	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	12ヵ月 (%)	年初来 (%)
グローバル HY (\$ヘッジ無)	1.16	3.64	10.75	10.75
グローバル HY (\$ヘッジ)	1.27	3.92	8.45	8.45
スプレッド・リターン	0.25	1.71	2.77	2.77
トレジャリー・リターン	1.02	2.21	5.68	5.68
グローバル HY (€ヘッジ)	0.73	2.72	6.19	6.19
グローバル HY (£ヘッジ)	1.24	3.81	8.36	8.36

出所: ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント、BofA、2025年12月31日時点。過去のパフォーマンスを表示しており、将来の成果を保証するものではありません。指数のリターンは運用によるものではなく、いかなる手数料または経費の控除も反映されていません。指数のリターンには、収入、利益および損失のすべての項目と、該当する配当金およびその他収入の再投資が反映されています。

図表 2: ハイールド市場のスプレッドの動き



■ Euro HY ■ Sterling HY ■ US HY ■ Global HY
出所: ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント、BofA、2025年12月31日時点。過去のパフォーマンスを表示しており、将来の成果を保証するものではありません。

デフォルト率は引き続き低水準で推移し、直近12か月のグローバル・ハイールド債のデフォルト率は1.6%と、数年にわたる低下トレンドを継続しました。資本市場は活発で、グロス発行額は3,350億ドル（コロナ後で最高水準）、ネット発行額は1,200億ドル（過去4年で最高）に達しました。資金用途としては借り換えが中心となった一方で、M&A（合併・買収）関連の資金調達も顕著な回復を見せました。投資家需要も非常に強く、米ハイールド債には189億ドル、ユーロハイールド債には95億ユーロの資金流入がありました。

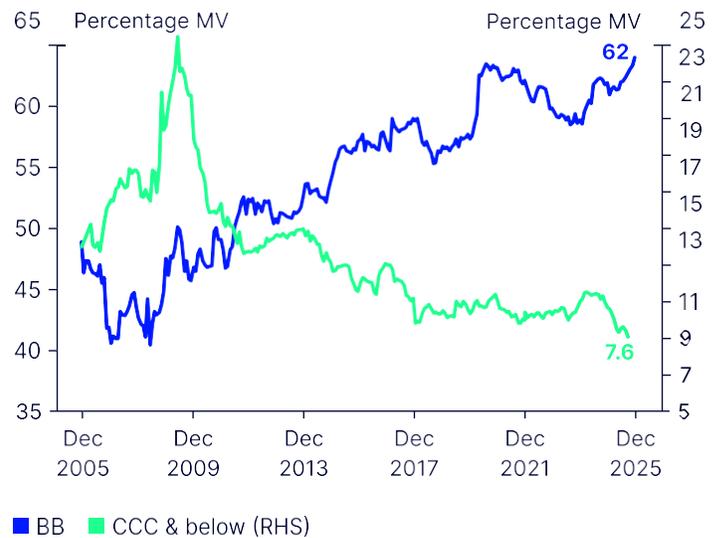
見通し

ハイールド債市場は、2年連続で力強いパフォーマンスを経て2026年を迎えており、スプレッドは歴史的に見ても割高な水準（上位10%）に位置しています。ただし、バリュエーションは文脈を踏まえて評価する必要があります。投資ユニバースの質は向上しており、BB格付債が全体の62%を占め、デュレーションは3.1年と短く、過去のスプレッド縮小局面と比べてもドル価格は低水準にとどまっています。金利の低下が想定ほど進んでいないことに加え、最近の新規発行ではクーポン水準が高く、インカムが再構築されているため、利回りの魅力は依然として高い状況です。企業のバランスシートは引き続き健全で、償還集中（マチュリティ・ウォール）も管理可能な水準にあり、直近の市場ボラティリティ局面においても特定セクターにおける深刻な信用不安は顕在化していません。

一方で、2026年にかけてM&AやLBO関連の発行がさらに増加した場合、需給環境（テクニカルズ）が悪化するリスクがあります。また、プライベートクレジット市場における大型デフォルトやリストラチャリングが波及した場合、リスク回避の動きが引き起こされる可能性もあります。

高水準の利回り、改善したクレジット・クオリティ、そして引き続き金融環境が支援的であることが、スプレッド変動に対するクッションとなっています。低デフォルト環境下において、ハイールド債は依然として底堅いインカム創出資産クラスとして位置づけられます。

図表 3: グローバル・ハイールド債：より高いクオリティへの構造的シフト



出所: ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント、BofA、2025年12月31日時点。

結論

ハイールド債は、より複雑なリスク環境の中にあっても、堅調なクレジット・クオリティと魅力的な利回りに支えられ、持続的なインカム創出が期待できるポジションで2026年を迎えています。

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメン トについて

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、約半世紀にわたり、機関投資家、金融プロフェッショナル、そして個人投資家の皆様に、より良い成果をもたらすお手伝いをしてきました。インデックス運用やETFにおける革新に始まり、当社の厳格なアプローチは、市場で実証された専門知識と、お客様への揺るぎないコミットメントによって支えられています。現在、運用資産は5兆ドルを超え*、60カ国以上のクライアントと、そしてグローバル規模の戦略的パートナーと共に、投資家の皆様が目指すあらゆるゴールに到達するための、包括的でコスト効率の高い投資ソリューションを提供しています。

*2025年12月31日時点、ETFの運用資産総額1兆9,508.0億米ドルを含み、そのうち約1,730.2億米ドルは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー（「SSGA FD」）がマーケティングエージェントを行っているSPDRの金の資産です。SSGA FDはステート・ストリート・インベストメント・マネジメントの関連会社です。すべての運用資産残高は監査前の数値です。

statestreet.com/investment-management

投資には、元本毀損のリスクを含むリスクが伴います。

本書は、投資の推奨や投資アドバイスを意図したものではありません。本資料には、将来の見通しと見なされる可能性のある記述が一部含まれています。その様な記述は、将来のパフォーマンスを保証するものではなく、実際の結果や展開はこれら予想とは大きく異なる場合がある点にご注意ください。

本稿に示されている見解は 2026 年1月31日時点のSrinivasan Margabanduの見解であり、市場やその他の状況によって変わる場合があります。本資料には、将来の見通しと見なされる可能性のある記述が一部含まれています。その様な記述は、将来のパフォーマンスを保証するものではなく、実際の結果や展開はこれら予想とは大きく異なる場合がある点にご注意ください。

本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。また、本資料に記載している各種情報・データは、特に記載のない限り作成時点のものでありこれらは市場動向やその他の状況等によって随時変動し、あるいは変更されることがあります。

ここで言及されている商標およびサービスマークは、それぞれの所有者の所有物です。第三者のデータ提供者は、データの正確性、完全性または適時性に関しいかなる保証または表明も行わず、また、かかるデータの使用に関連するいかなる種類の損害に対しても責任を負いません。

当社の書面による明示的な同意なしに、本著作物の全部または一部を複製、複写もしくは送信し、または第三者に開示することはできません。

有価証券への投資には、価格変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク等、様々なリスクが伴います。これらのリスク要因により、投資資産の市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。投資信託およびETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ有価証券の売買の際に発生する手数料、監

査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、上限を示すことができません。

一般的に債券は株式と比較してボラティリティが低い特徴がありますが、金利リスク（金利上昇時には債券価格が下落する）、発行体の債務不履行リスク、流動性リスクおよび物価上昇リスク等が伴います。これらのリスクは残存期間の長い債券ほど大きくなる傾向があります。債券を満期日以前に売却する場合には、大幅な差損益が発生する可能性があります。

ハイ・イールド債券（「ジャンク・ボンド」とも呼ばれる）への投資は投機的と考えられており、投資適格債券と比べ、元本や利金を失うリスクが高くなります。これらの格付けが低い債券は、発行体の信用力が変化することにより、価格変動やデフォルトのリスクも高い傾向にあります。

過去の実績は、将来の投資成果を保証するものではありません。

本資料は、ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントが作成したものをステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が和訳したものです。内容については原文が優先されることをご了承下さい。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズはブランド名をステート・ストリート・インベストメント・マネジメントに変更いたしました。ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が行う資産運用関連業務のブランド名です。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

© 2026 State Street Corporation. All Rights Reserved.

8788155.1.1.APAC.RTL Exp. Date: 02/28/2027